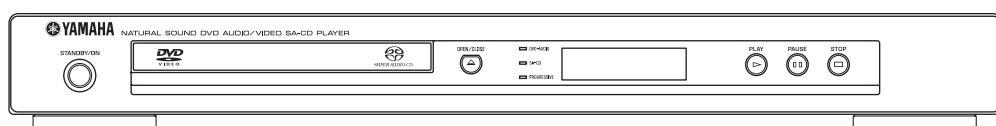
DVD AUDIO/VIDEO SA-CDプレーヤー

DVD AUDIO/VIDEO SA-CD PLAYER

DVD-S657

取扱説明書

ヤマハDVD AUDIO/VIDEO SA-CDプレーヤーDVD-S657をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■ 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例

気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば⚠は「感電注意」を示しています。

してはいけない行為を表しています。
たとえば🛇は「分解禁止」を示しています。

必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なにおいや音がする。 ● 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。 ● ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室･台所･海岸･水辺 ● 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水滴の混入により火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。

分解禁止

分解･改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理･調整は販売店にご依頼ください。

禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。 ● じゅうたん･カーペットの上には設置しない。
- あおむけや横倒しには設置しない。 ● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(少なくとも本機の左右、上、背面各2.5cm以上離して設置してください。)

本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。

禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

必ず行う

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。

禁止

本機のディスクの挿入口にものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。

手を挟まれないよう注意

ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因となることがあります。

禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

● 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
● 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。

禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。

必ず行う

再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。

プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

移動をするときには本機(または接続器機)の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

● 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
● コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず行う

電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。

注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。

必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しない。

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

- **デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。**

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

電源高周波について：本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

目　次

目　次

付属品

すべてそろっているかご確認ください。

● リモコン
● 単３乾電池（２本）
● 音声／映像ピンケーブル

再生できるディスク

本機はディスクのレーベル面に下記のロゴマークがついているディスク（規格に合致しているもの）を再生できます。それ以外のディスクは、本機の故障やディスクの破損の原因となりますので使用しないでください。

本書内では、下記のマークを使用しています。

DVDオーディオ	DVD ビデオ	ビデオ CD*1
DVD-A	DVD-V	VCD

スーパーオーディオ CD	音楽 CD	MP3
SA-CD	CD	MP3

*1 VCD アイコンはスーパービデオ CD を含みます。

ご注意

- *本機は以下のディスク、データファイル再生に対応しています。*
  DVD ビデオ、ビデオ CD、スーパービデオ CD、DVD オーディオ、スーパーオーディオ CD、音楽 CD の各ディスク。
  *CD-R/RW または DVD+R*1/+RW/-R/-RW*2 に記録された MP3、WMA、JPEG、DivX® 3.11/4.x/5.x の各データファイル。*
  **1: DVD+R は Dual layer に対応。*
  **2: DVD-RW は VR フォーマット（CPRM 対応）に対応。*
- *CD-R/RW、DVD+R/RW はファイナライズされたディスクのみ再生できます。*
- *DVD-R は、ビデオフォーマットで録画され、ファイナライズされた場合のみ再生できます。*
- *DVD-RW は、ビデオフォーマットまたは VR フォーマットで録画され、ファイナライズされた場合のみ再生できます。*
- *記録状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。*
- *CD-R/RW ディスクは信頼性あるメーカーのディスクのみをご使用ください。*
- *ハート型など特殊形状のディスク、ラベルや接着テープが張られているディスク、表面に多くの傷があるディスクは使用しないでください。*
- *本機は以下のディスクを再生できません。*
  フォト CD、CD-ROM、DVD-ROM、DVD-RAM、CDV、CD 規格外ディスクなど。

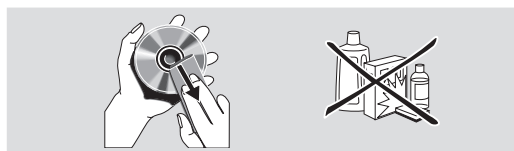
- *DVD、ビデオ CD の中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。これはソフト制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。*

DVD ビデオのリージョンコードについて

DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクにはリージョンコード（発売地域ごとに割り当てられた識別番号）が決められています。本機では下表のディスクが再生できます。
詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		またはリージョンコード 2 も含むリージョンのディスク

ディスクのお手入れについて

ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ拭いてください。その際、レコードクリーナーやシンナーなどを使わないでください。

著作権

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」、「PRO LOGIC」およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

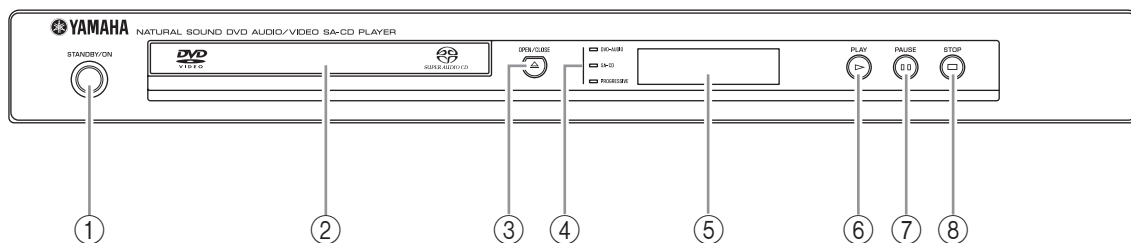
DTS および DTS Digital Surround はデジタルシアターシステムズの登録商標です。

DivX、DivX Certified およびそのロゴは DivX Networks Inc の商標であり、ライセンス承諾を得て使用されます。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の視聴用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

各部の名称とはたらき

フロントパネル（本体前面）

① STANDBY（スタンバイ）/ON（オン） キー

本機の電源の入／待機（スタンバイ）を切り替えます。スタンバイ中は、リモコンからの赤外線信号を受信するために、少量の電力を消費します。

② ディスクトレイ

再生するディスクをセットします。

③ ▲ OPEN（オープン）/CLOSE（クローズ） キー

ディスクトレイを開閉します。

④ DVD-AUDIO（オーディオ） インジケーター

DVD オーディオ信号を検出したときに点灯します。

SA-CD インジケーター

スーパーオーディオ CD 信号を検出したときに点灯します。

PROGRESSIVE（プログレッシブ） インジケーター

プログレッシブモードのときに点灯します。

⑤ フロントパネルディスプレイ

本機の操作状態を表示します。

A.DRCT（オーディオダイレクト）

オーディオディスクを再生中にリモコンの AUDIO DIRECT キーを押してオーディオダイレクトモードにすると点灯します。

ML.CH（マルチチャンネル）

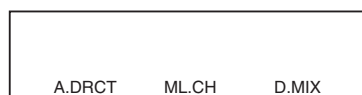
マルチチャンネルのソースを再生すると点灯します。

D.MIX（ダウンミックス）

再生しているマルチチャンネルのソースが 2 チャンネルへのダウンミックス可能なときに点灯します。

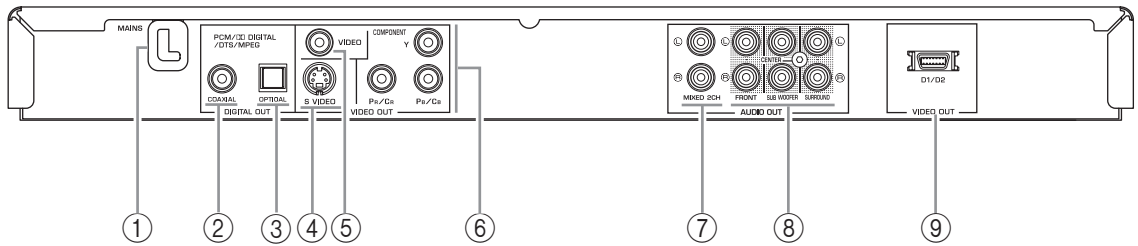
⑥ ► PLAY（プレイ） キー

ディスクを再生します。

⑦ II PAUSE（ポーズ） キー

再生を一時停止します。

⑧ ■ STOP（ストップ） キー

再生を停止します。

リアパネル（本体背面）

① 電源コード

コンセントに接続します。

② COAXIAL（コアキシャル）（同軸）デジタル音声出力端子

お使いの AV 機器の同軸デジタル入力端子に接続します。

③ OPTICAL（オプティカル）（光）デジタル音声出力端子

お使いの AV 機器の光デジタル入力端子に接続します。

④ S VIDEO（ビデオ）出力端子

お使いの AV 機器の S ビデオ入力端子に接続します。

⑤ VIDEO（ビデオ）出力端子

（コンポジット映像出力端子）
お使いの AV 機器のビデオ入力端子に接続します。

⑥ COMPONENT（コンポーネント）出力端子

お使いの AV 機器のコンポーネントビデオ入力端子に接続します。

⑦ MIXED（ミックスド）2 CH（チャンネル）音声出力端子

お使いの AV 機器のアナログ音声入力端子に接続します。

⑧ マルチチャンネル音声出力端子

お使いの AV 機器のアナログマルチチャンネル入力端子に接続します。

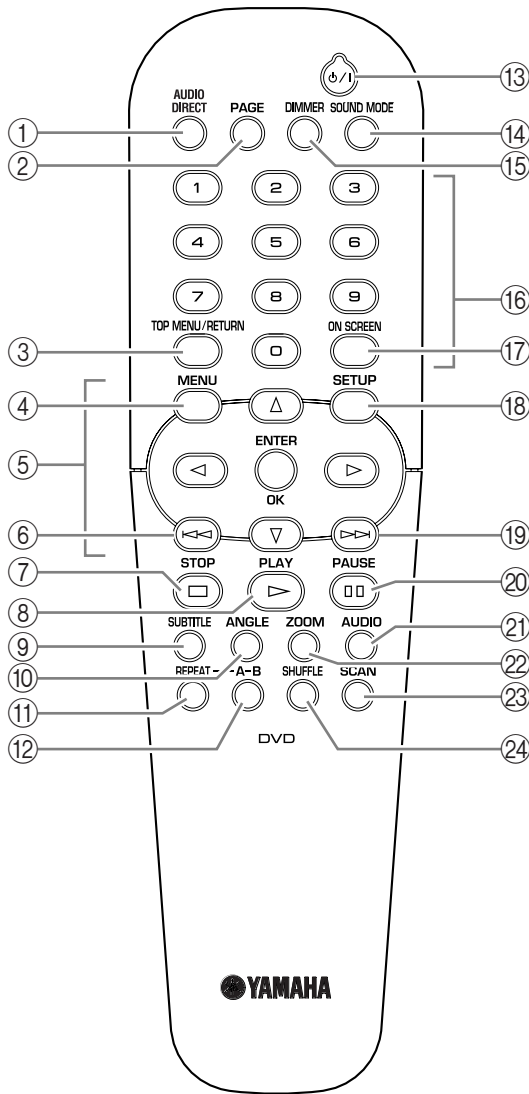
⑨ D1/D2 ビデオ出力端子

お使いの AV 機器の D1/D2 ビデオ入力端子に接続します。

ご注意

- *リアパネルの端子内にあるピンには触れないでください。放電し故障の原因となることがあります。*

各部の名称とはたらき

リモコン

① **AUDIO DIRECT キー**
オーディオディスク再生中、ビデオ出力をオン／オフします。

② **PAGE キー**
DVD オーディオの静止画像(ページ) を切り替えます。

③ **TOP MENU/RETURN キー**
ディスクの最初のメニュー画面を表示します。(DVD)
前のメニューに戻ります。(VCD)

④ **MENU キー**
ディスクのメニュー画面を表示します。(DVD)
プレイバックコントロールをオン／オフします。(VCD)

⑤ **◀ ▶▲▼、ENTER/OK キー**
メニュー画面などで項目を選択、変更します。

⑥ **|◀◀ キー**
再生中のチャプターまたはトラックを頭出しします。
2 秒以上押しつづけると早戻しします。

⑦ **STOP(■)キー**
再生を停止します。

⑧ **PLAY(▶)キー**
ディスクを再生します。

⑨ **SUBTITLE キー**
字幕言語を切り替えます。

⑩ **ANGLE キー**
マルチアングル(複数の角度から映像を収録)の DVD ビデオ再生時にアングルを切り替えます。

⑪ **REPEAT キー**
チャプター、トラック、ディスク全体をリピート(繰り返し)再生します。

⑫ **A-B キー**
見たい箇所をA-B で指定して、繰り返し再生(A-B リピート)します。

⑬ **⏻/ I キー**
本機の電源の入／待機(スタンバイ)を切り替えます。

⑭ **SOUND MODE キー**
音声モード:ステレオ、バーチャルサラウンド、マルチチャンネルを切り替えます。
スーパーオーディオ CD を再生する際、再生するエリアを切り替えます。

⑮ **DIMMER キー**
フロントパネルディスプレイの明るさを 3 段階で調整します。

⑯ **数字キー**
メニュー画面などで数字を入力します。

⑰ **ON SCREEN キー**
本機のオンスクリーン情報の表示をオン／オフします。

⑱ **SETUP キー**
SETUP メニューの表示をオン／オフします。

⑲ **▶▶| キー**
次のチャプターまたはトラックを頭出しします。
2 秒以上押しつづけると早送り再生します。

⑳ **PAUSE(❚❚)キー**
再生を一時停止します。画像再生時はキーを押すごとにフレーム再生(コマ送り)します。

㉑ **AUDIO キー**
音声言語やフォーマットを切り替えます。
ハイブリッドスーパーオーディオ CD を再生する際、再生するレイヤーを切り替えます。

㉒ **ZOOM キー**
映像を拡大します。

㉓ **SCAN キー**
各トラックやチャプターの最初の 6 秒程度を再生します。

㉔ **SHUFFLE キー**
トラックを順不同で再生します。

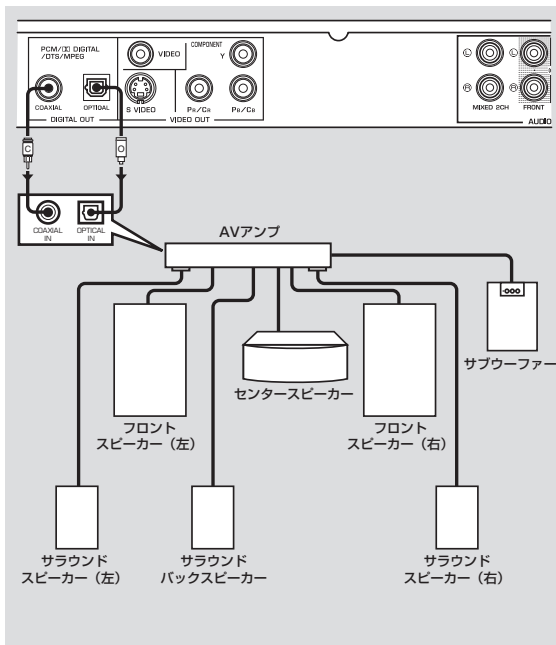
接続について

接続のまえに、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

- ご使用になる機器によっていろいろな接続方法がありますが、ここではAVアンプを使用した代表的な例を紹介します。
- 接続する機器の取扱い説明書もご参照ください。
- 本機をビデオデッキを通してテレビに接続しないでください。コピーガード機能の影響で正常に再生できないことがあります。
- 本機をAVアンプなどのPHONO端子（レコードプレーヤー接続端子）に接続しないでください。

音声端子の接続

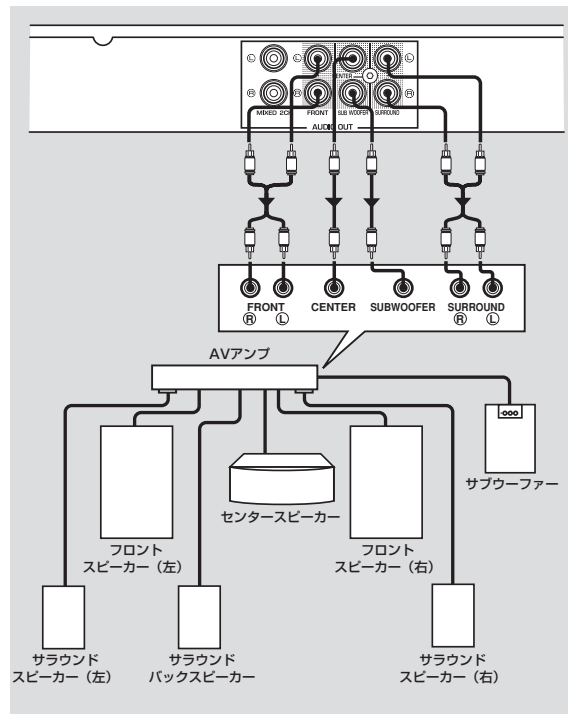
デジタル入力のある機器との接続

ドルビーデジタル、DTSのマルチチャンネル再生を楽しむには、本機のCOAXIAL（同軸）またはOPTICAL（光）デジタル音声出力端子と、市販のケーブルを使って、ドルビーデジタル、DTSデコーダー搭載のAVアンプに接続します。

デジタル信号をそのまま出力するには、セットアップメニューの「デジタル出力」を「すべて」に設定する必要があります。詳しくは「デジタルオーディオ設定」（21ページ）をご参照ください。

ご注意

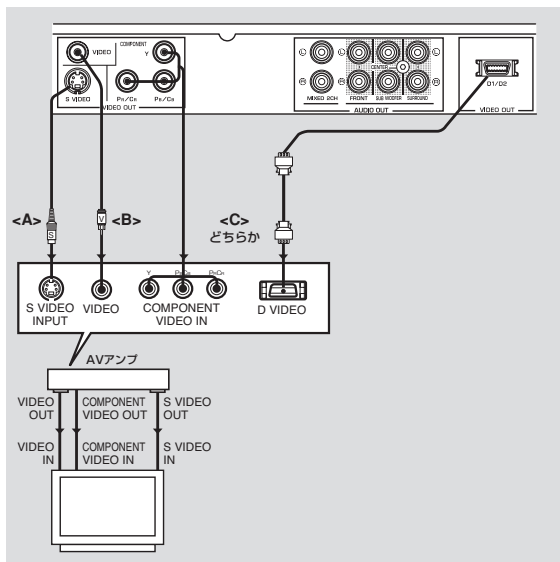
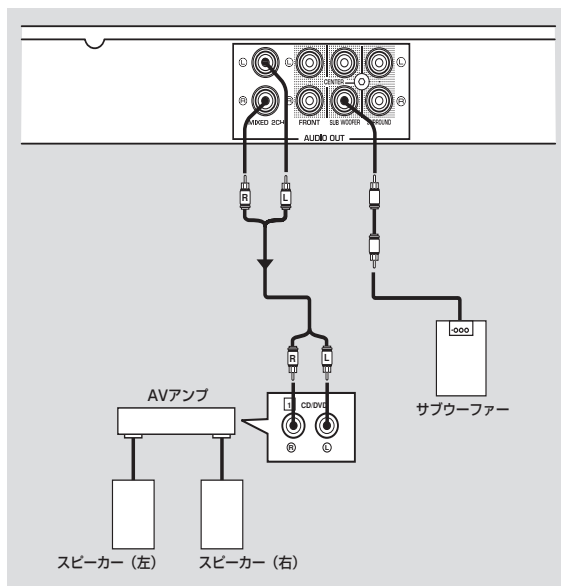
- *デジタル接続に加え、アナログ接続も行ってください。AVアンプがデコーダーを搭載していない場合、デジタル接続のみでは音が出ないことがあります。*
- *AVアンプ側が対応していないデジタル音声フォーマットを出力すると、強いノイズを発したり音が出なかったりすることがあります。このようなときはディスクのメニュー画面から正しい音声フォーマットを選択してください。選択された音声フォーマットが数秒間表示されます。また、AUDIOキーを繰り返し押すと、音声言語だけでなくディスクに収録されている音声フォーマットも切り替わる場合があります。*
- *スーパーオーディオCDの音声信号は本機のDIGITAL OUT端子からは出力されません。*
- *ドルビーデジタル、DTSのマルチチャンネル再生を楽しむには、それらに対応したAVアンプに本機を接続してください。*

アナログマルチチャンネル入力のある機器との接続

市販の音声ピンケーブルを使って、本機のマルチチャンネル音声出力端子をアナログマルチチャンネル入力端子のあるAVアンプに接続すると、スーパーオーディオCDやDVDオーディオなどのマルチチャンネル音声をお楽しみいただけます。

アナログステレオ入力のある機器との接続

付属の音声／映像ピンケーブルを使って、本機の MIXED 2CH 音声出力端子を AV アンプやテレビの音声入力端子などに接続します。本機の SUBWOOFER 端子にサブウーファーを接続することもできます。

映像端子の接続

AV アンプにビデオ出力端子がある場合、本機のビデオ出力（VIDEO（ビデオ）出力端子、S VIDEO(S ビデオ）出力端子、COMPONENT（コンポーネント）出力端子、D1/D2 ビデオ出力端子のいずれか）を AV アンプのビデオ入力に接続し、次に AV アンプのビデオ出力をテレビのビデオ入力に接続します。これにより、AV アンプの入力選択スイッチを切り替えるだけで、DVD レコーダー、ビデオデッキなど複数の機器から伝送される映像や音声を、1 台のテレビでお楽しみいただけます。

上図のように本機の映像出力端子を A、B、C からひとつ選択して接続してください。

A：S VIDEO（S ビデオ）出力端子
B：VIDEO(ビデオ）出力端子
C：COMPONENT(コンポーネント）出力端子または D1/D2 ビデオ出力端子

S VIDEO(S ビデオ)出力端子〈A〉

色と輝度を分けて伝送し、一般的な映像信号（コンポジット）より美しい映像を再生します。市販の S ビデオケーブルを使って、AV アンプの S ビデオ入力端子に接続してください。

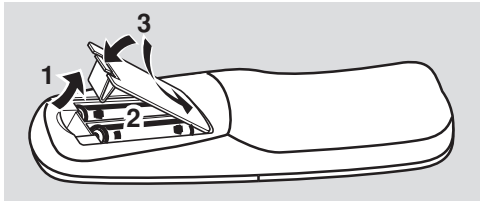
VIDEO(ビデオ)出力端子〈B〉

一般的な映像信号（コンポジット）を出力します。付属の映像ピンケーブルを使用して接続します。

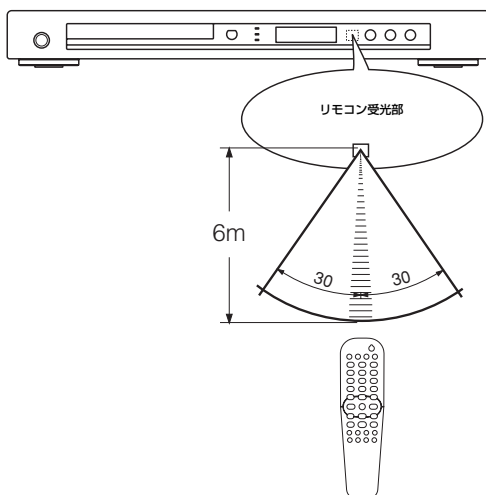
COMPONENT(コンポーネント)出力端子 / D1/D2 ビデオ出力端子〈C〉

色差信号 2 種類と輝度を分けて伝送し、S ビデオよりさらに美しい映像を再生します。また、プログレッシブ信号を出力できるので、プログレッシブ対応のテレビを使用するとさらに高画質な映像がお楽しみいただけます。市販のケーブルを使って、D1/D2 ビデオ出力端子または COMPONENT（コンポーネント）出力端子（PR/CR、PB/CB、Y）に接続してください。AV アンプにコンポーネント出力端子がない場合、本機の出力端子をテレビのコンポーネント入力端子に直接接続することもできます。

リモコンに電池を入れる

1 裏ブタのタブを押さえながらカバーを開きます。
2 ＋と－の向きを確認して電池を入れます。
3 フタを閉めます。

ご注意

- *電池の向き（+/－）を正しく挿入してください。向きを間違えると、液漏れの原因となります。*
- *液漏れを防ぐために、消耗した電池は早めに交換してください。また長時間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは電池を取り出してください。*
- *乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して破棄してください。液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。*
- *新しい電池と、一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。*
- *電池を廃却する際は、各地自治団体の条例に従って処理してください。*

リモコンの使用について

リモコンで本機を操作する際は、リモコンの赤外線送信部を本機のリモコン受光部に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から 6m 以内で正面から左右に 30 度以内になります。

ご注意

- *水などをこぼさないようにしてください。*
- *落としたりショックを与えたりしないでください。*
- *高温多湿の状態で長時間保管しないでください。*

電源を入れる

1 電源コードをコンセントに接続します。
2 テレビと AV アンプの電源を入れます。
3 AV アンプの入力を切り替え、本機（DVD）を選択します。詳しくは AV アンプの取扱説明書をご参照ください。
4 STANDBY/ON キーを押して、本機の電源を入れます。
5 テレビの入力を切り替えます。
例えば、AV アンプがテレビのビデオ入力端子 2 に接続されている場合はビデオ入力 2 を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご参照ください。
➜ フロントパネルディスプレイが点灯し、本機の情報画面がテレビに表示されます。

オートスタンバイ機能について

電力節約のため、停止や一時停止などディスクを再生していない状態で３０分以上操作をしないと、自動的にスタンバイ（待機）状態になります。

スクリーンセーバーがオンに設定されている場合
壁紙 *（停止などの状態で表示される画面）または一時停止時の画面が１５分間、スクリーンセーバーが１５分間表示されたあと、スタンバイ状態になります。

スクリーンセーバーがオフに設定されている場合
壁紙または一時停止時の画面が３０分間表示されます。スクリーンセーバーの設定については「スクリーンセーバー」（20 ページ）をご参照ください。

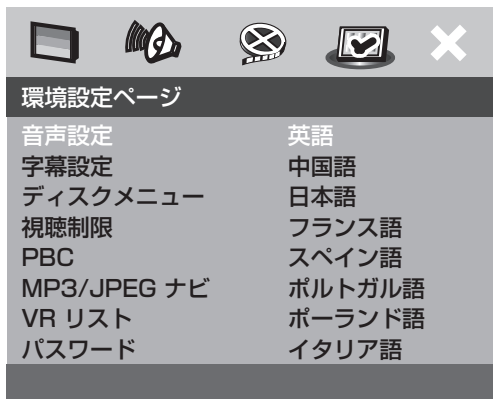
**: 壁紙とは、SUPER AUDIO CD と DVD-AUDIO/VIDEO のロゴマークが表示されている画面のことです。*

言語を設定する

お好みの言語を設定します。ディスクを再生する際、ここで選択した言語が自動的に適用されます。再生するディスクに選択した言語が収録されていない場合、ディスクの初期設定の言語が代わりに適用されます。

メニュー言語を設定する

1. リモコンの SETUP キーを押します。
2. ◀ ▶ キーを押して「一般設定ページ」を選びます。
3. ▲▼ キーを押して「OSD 言語」を選び、▶ キーを押します。
4. ▲▼ キーを押して言語を選び、ENTER/OK キーで決定します。

音声、字幕、ディスクメニューの言語を設定する

1. リモコンの STOP(■)キーを 2 度押して再生を停止してから、SETUP キーを押します。
2. ▶ キーを繰り返し押して「環境設定ページ」を選択します。
3. ▲▼ キーを押して次の項目からひとつを選び、▶ キーを押します。

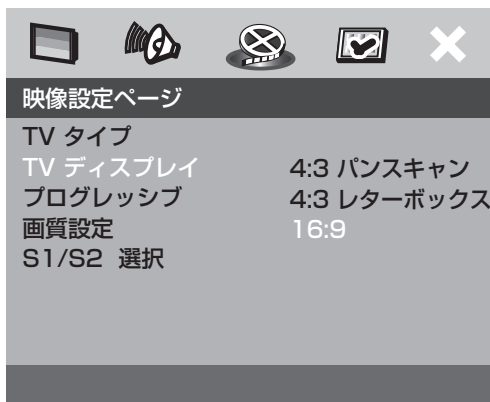
「音声設定」
通常使用する音声言語を設定します。

「字幕設定」
通常使用する字幕言語を設定します。

「ディスクメニュー」
メニュー表示に使用する言語を設定します。

4. ▲▼ キーを押して言語を選び、ENTER/OK キーで決定します。
メニュー内の言語以外を選択したい場合、「その他」を選んでから数字キーで 4 桁の言語コードを入力し、ENTER/OK キーで決定します。言語コードについては「主な仕様」(31 ページ)をご参照ください。
5. 手順 3 ～ 4 を繰り返し実行して、他の項目を設定します。

テレビ画面のサイズを設定する

ご使用のテレビがワイドテレビ(16:9)の場合、この設定をすることで、ご使用のテレビに適した画面サイズで映像を楽しむことができます。ご使用のテレビが従来のサイズ(4:3)の場合は、この設定を変更する必要はありません。
詳しくは「TV ディスプレイの設定」(23 ページ)をご参照ください。

1. リモコンの SETUP キーを押します。
2. ◀ ▶ キーを押して「映像設定ページ」を選びます。
3. ▲▼ キーを押して「TV ディスプレイ」を選び、▶ キーを押します。
4. ▲▼ キーを押して「16:9」を選び、ENTER/OK キーで決定します。

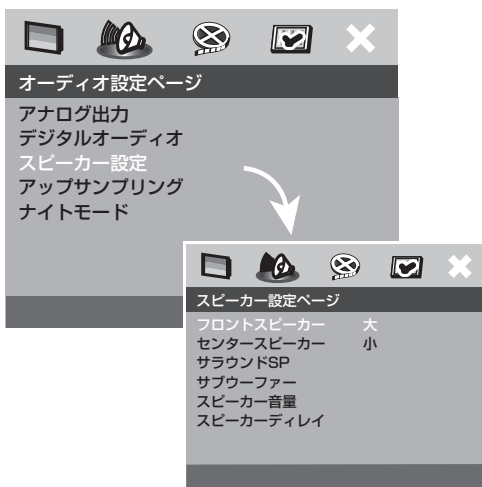
スピーカーの設定を調節する

各スピーカーの音量レベル、スピーカーと視聴位置の距離（センターおよびサラウンドスピーカーのみ）を調節することができます。これらの設定を調節することで、最適な視聴空間をつくりだすことができます。

ご注意
- *これらの設定は本機のマルチチャンネル端子から出力される信号についてのみ有効です。*

1 リモコンの SETUP キーを押します。

2 ◀ ▶ キーを押して「オーディオ設定ページ」を選びます。

3 ▲▼ キーを押して「スピーカー設定」を選び、▶ キーを押します。

4 ▶ キーを押してサブメニューに入ります。

5 ▲▼ キーを押して次の項目からひとつを選び、▶ キーを押します。

「フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンド SP」

「OFF」
（センターおよびサラウンドスピーカーのみ）
スピーカーが接続されていない場合に選択します。

「大」
120Hz 以下の周波数信号を出力できるスピーカーを接続している場合に選択します。

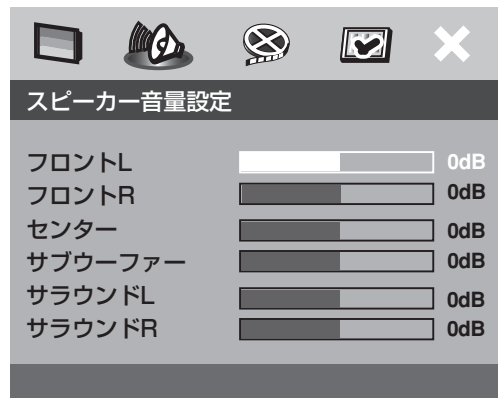
「小」
120Hz 以下の周波数信号を出力できないスピーカーを接続している場合に選択します。

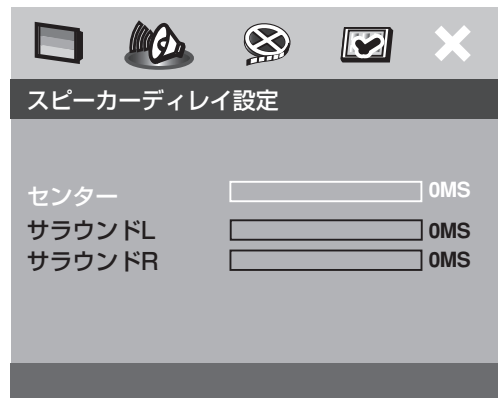
「サブウーファー」

「ON」
サブウーファーが接続されている場合に選択します。

「OFF」
サブウーファーが接続されていない場合に選択します。

「スピーカー音量」

各スピーカーの音量（－ 6dB ～＋ 6dB ）を設定します。初期値は「0dB」です。

「スピーカーディレイ」

視聴位置からセンターおよびサラウンドスピーカーまでの時間（0MS ～ 15MS ）を調節することで、ディレイタイムを設定します。初期値は「0MS」です。

6 ◀ ▶ キーを押して最適な時間を設定します。

7 ENTER/OK キーで決定します。

ご注意
- *サラウンドスピーカーがフロントスピーカーよりも視聴位置から近い場合、ディレイタイムを長めに設定してください。*
- *自動的にテストトーンが出ます。それを参考に、各スピーカーの設定を調節してください。*

再生する

- ディスクを再生中にキーを押した際、テレビ画面に禁止マーク（⊘または ✗）が表示された場合、その機能は利用できません。
- ディスクによって、操作方法や操作内容が異なる場合があります。
- ディスクトレイを押したり、トレイにディスク以外のものを乗せたりすると故障する原因となることがあります。

基本の操作

1. 本体の STANDBY/ON キーを押して電源を入れます。
2. 本体の ▲ OPEN/CLOSE キーを押してディスクトレイを開けます。
3. 印刷面を上にしてディスクをセットします。
4. ▲ OPEN/CLOSE キーを押してディスクトレイを閉めます。
   - ➜ トレイを閉めると自動的に再生をはじめるディスクもあります。
   - ➜ トレイが開いた状態で ▶ PLAY キーを押すと、トレイが閉まり再生を開始します。

よく使う機能

以下の説明では、本体とリモコンでキーの名称が違う場合、リモコンの名称を使用しています。

再生の一時停止

ディスクを再生中、PAUSE（ ❚❚ ）キーを押します。

➜ 再生が一時停止され、音が消えます。

- PAUSE（ ❚❚ ）キーをもう一度押すと、次のフレームにコマ送りされます。
- PLAY（ ▶ ）キーを押すと、通常の再生に戻ります。

スキップ（頭出し）

|◀◀ キーを押すと、再生中のチャプター／トラックの先頭にスキップします。

▶▶| キーを押すと、次のチャプター／トラックの先頭にスキップします。

- 数字キーでチャプター／トラックの番号を入力すると、そのチャプター／トラックにスキップします。
- リピート（繰り返し）機能が作動中の場合、|◀◀ キー／▶▶| キーを押すと同じチャプター／トラックが繰り返し再生されます。

早送り／早戻し

▶▶|キーを押しつづけると、早送りになります。|◀◀キーを押し続けると、早戻りになります。

- キーを繰り返し押すと、早送り／早戻しのスピードが変わります。
- PLAY（ ▶ ）キーを押すと、通常の再生に戻ります。

再生の停止

再生中に STOP（ ■ ）キーを押します。

- 停止した位置が記憶され、次に同じディスクを再生するときには停止位置から再生します（レジューム機能）。
- 停止した状態でもう一度 STOP（ ■ ）キーを押すとレジューム機能が解除されます。

リピート（繰り返し）、シャッフル（順不同）再生

リピート(繰り返し)

REPEAT キーを押すたびにリピート再生が以下のように変わります。

DVD-V DVD-A

➜RPT ONE(チャプターのリピート)
➜RPT TT/GRP(タイトル／グループのリピート)
➜RPT ALL(ディスクのリピート)
➜RPT OFF(通常再生)

VCD CD

➜RPT ONE(トラックのリピート)
➜RPT ALL(ディスクのリピート)
➜RPT OFF(通常再生)

MP3 DIVX SA-CD

➜RPT ONE(トラックのリピート)
➜RPT FLD(フォルダーのリピート)
➜RPT OFF(通常再生)

ご注意

- *ビデオ CD をリピート再生する場合、あらかじめプレイバックコントロールを解除してください。*

A-B リピート

チャプター／トラック内の指定した箇所を繰り返し再生できます。

1. **リピートを開始したい位置で A-B キーを押します。**
2. **リピートを終了したい位置で A-B キーを押します。**
   ➜A-B リピート再生が始まります。
3. **A-B キーをもう一度押すと、通常の再生に戻ります。**

シャッフル(順不同)

ディスク内のタイトル／グループ／アルバムに複数のチャプターまたはトラックがある場合、チャプターまたはトラックを順不同で再生できます。

1. **再生中に SHUFFLE キーを押します。**
   ➜テレビ画面に2秒間ほどSHUFFLEと表示されます。
2. **SHUFFLE キーをもう一度押すと、通常の再生に戻ります。**

ご注意

- *スーパーオーディオ CD では、選択されたエリア内のトラックのみシャッフル再生できます。*

DVD、VCD、SVCD の各種機能

ディスクメニューの操作

再生中にメニュー画面を呼び出して、チャプター、タイトルの頭出しや、音声、字幕の切り替えなどができます。

1. **MENU キーを押します。**
   ➜→ディスクのメニュー画面が表示されます。
2. **◀ ▶▲▼ キーか数字キーで項目を選択します。**
3. **ENTER/OK キーで決定します。**
4. **MENU キーを押して、メニュー画面を消します。**

ズーム

映像を部分的に拡大します。また、拡大画像を再生中または一時停止中にパン(表示箇所を移動)します。

1. **再生中に ZOOM キーを押します。**
   ➜画面にカーソルが表示されます。
   ➜◀ ▶▲▼ キーで拡大したい部分を移動できます。
   ➜再生はそのまま続きます。
2. **ZOOM キーを繰り返し押して、サイズを拡大します。**
3. **ZOOM キーを繰り返し押して、元のサイズに戻します。**

レジューム機能

停止した位置を記憶して、次に同じディスクを再生するときにはその停止位置から再生します。本機はディスク 10 枚分の停止位置を記憶できます。

1. **ディスク(最近再生した 10 枚のうちの 1 枚)をトレイにセットします。**
   ➜ “ロード中” というメッセージが表示されます。
2. **“ロード中”のメッセージ表示中に PLAY(▶)キーを押します。**
   ➜前回の停止位置から再生されます。
3. **停止した状態でもう一度 STOP(■)キーを押すとレジューム機能が解除されます。**

再生する

ディスクメニューの画面表示

再生中にディスク情報を呼び出して、タイトルまたはチャプターの番号、再生経過時間、音声言語、字幕言語などをテレビ画面に表示することができます。

DVD-V

（表示例）

VCD

メニュー
トラック 01/15
トータル時間 1:10:53
トラック時間 0:04:28
リピート OFF
ビットレート75 ディスク経過時間 0:00:05

（表示例）

タイトル／チャプター／トラックの選択 DVD-V VCD

1 再生中に ON SCREEN キーを押します。
➜ディスク情報がテレビ画面に表示されます。

2 ▲▼ キーで、タイトルまたはチャプター(DVD)、トラック(ビデオ CD)を選択します。

3 ENTER/OK キーを押します。

4 数字キーで、再生したいタイトル、チャプター、トラック番号を入力します。

タイムサーチ DVD-V VCD

指定した経過時間の位置から再生できます。

1 再生中に ON SCREEN キーを押します。
➜ディスク情報がテレビ画面に表示されます。

2 ▲▼ キーで、タイトル時間またはチャプター時間(DVD)、ディスク時間またはトラック時間（ビデオ CD）を選択します。

- タイトル時間とは再生中のタイトルの経過時間、チャプター時間とは再生しているチャプターの経過時間のことです。

3 ENTER/OK キーを押します。

4 数字キーで、左から順に、時間:分:秒を入力します。(例: 0:34:27)

音声、字幕、アングルの選択 DVD-V VCD

ディスクにその機能がある場合、ディスクに収録されている音声、字幕、アングルを切り替えることができます。

1 再生中に ON SCREEN キーを押します。
➜ディスク情報がテレビ画面に表示されます。

2 ▲▼ キーで「音声設定」「字幕設定」「アングル」のいずれかを選択します。

3 ENTER/OK キーを押します。

4 音声と字幕は ▲▼ キーで選択して、ENTER/OK キーを押します。アングルは数字キーで選択します。

リピート、時間表示 DVD-V VCD

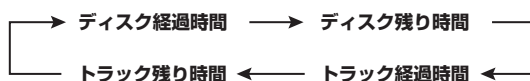
1 再生中に ON SCREEN キーを押します。
➜ディスク情報がテレビ画面に表示されます。

2 ▲▼ キーを押して、「リピート」または「時間表示」を選択します。

3 ENTER/OK キーを押します。

4 ▲▼ キーでお好みの設定を選択し、ENTER/OK キーを押します。

時間表示 CD

ON SCREEN キーを押すたびに、表示が以下のように変わります。

DVD の各種機能

アングルの選択

同時に複数のアングルから撮影したシーンを収録しているディスクを再生中に、お好みのアングルを選択することができます。
ANGLE キーを繰り返し押します。

音声言語／フォーマットの選択

複数の言語または音声フォーマットを収録しているディスクの再生中に、音声言語やフォーマットを選択することができます。
AUDIO キーを繰り返し押します。

字幕の選択

SUBTITLE キーを繰り返し押します。

ビデオ CD、スーパービデオ CD の各種機能

プレイバックコントロールの操作

プレイバックコントロール(PBC)機能のあるビデオ CD では、テレビ画面にメニューを表示させ、見たい場面や情報を選ぶことができます。

1 **MENUキーを繰り返し押して「PBC ON」または「PBC OFF」を選択します。**
➜「PBC ON」を選択すると、テレビ画面にメニューが表示されます。
➜「PBC OFF」を選択すると、メニューが表示されずに最初から再生が始まります。

2 **「PBC ON」を選択した場合、|◀◀ キー／ ▶▶| キーまたは数字キーでメニュー項目を選択し、ENTER/OK キーで決定します。**
➜「PBC ON」が選択されている場合、再生中に TOP MENU/RETURN キーを押すと、メニュー画面が表示されます。

プレビュー機能

1 **SCAN キーを押します。**
➜ プレビューのメニュー画面が表示されます。

2 **▲▼ キーを押して、「トラックダイジェスト」、「ディスクインターバル」、「トラックインターバル」のいずれかを選択します。**

3 **ENTER/OK キーを押します。**
➜ 選択した種類のプレビュー画面が表示されます。

ダイジェストタイプ選択:
トラックダイジェスト
ディスクインターバル
トラックインターバル

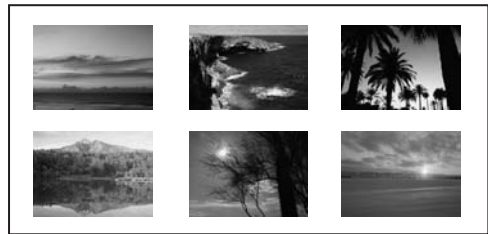
トラックダイジェスト DVD-V VCD

1 度に 6 トラックが表示され、見たいトラックを探すことができます。

ディスクインターバル

ディスク全体の総時間を 6 等分して表示します。ディスク全体から見たい場面を探すことができます。

トラックインターバル

ひとつのトラックを 6 つに分けて表示します。トラック内で見たい場面を探すことができます。

(表示例)

4 **◀ ▶▲▼ キーでトラックを選択します。「選択」のとなりにカーソルを移動させ、数字キーでトラック番号を入力することもできます。**
「トラックダイジェスト」の場合、▶▶| キーで次の 6 トラック、|◀◀ キーで前の 6 トラックを見ることができます。

5 **ENTER/OK キーで決定します。**
プレビューを終了するときは、◀ ▶▲▼ キーを押して「終了」にカーソルを移動させ、ENTER/OK キーを押します。
プレビューのメニュー画面に戻るときは、◀ ▶▲▼ キーを押して「メニュー」にカーソルを移動させ、ENTER/OK キーを押します。
➜ CDの場合、停止中にSCANキーを押すと、各トラックが数秒間再生されます。

DVD オーディオの各種機能

DVD オーディオはリニア PCM またはパックト PCM の高音質オーディオを最大 6 チャンネルで再生するために開発されました。最大サンプリング周波数 192kHz/24 ビットに対応しています。DVD オーディオディスクの多くは画像のスライドショー機能やページ送り機能が使えます。

- ダウンミックス禁止処理されているディスクの再生時には本機のフロントパネルディスプレイから「D.MIX」が消えます。このとき、マルチチャンネル収録のトラックはオンスクリーンメニューの「アナログ出力」設定に関係なく再生されますが、MIXED 2CH 端子からはフロント L、R 以外のチャンネルは出力されません。

画面ページの切り替え

DVD オーディオディスクにはフォトギャラリー、アーティストバイオグラフィ、歌詞などが収録されているものがあります。

リモコンの PAGE キーを押すと、次の画面ページに切り替わります。

ボーナスグループの再生

ボーナスグループが収録されたディスクがあります。ボーナスグループは 4 桁のパスワードを入力すると再生できます。ディスクジャケットなどに記載された説明をお読みください。

1 **STOP キーを 2 度押して再生を停止してから、ON SCREEN キーを押します。**

➜ テレビ画面にグループまたはトラックのリストが表示されます。

2 **▲▼ キーを押してボーナスグループを選び、ENTER/OK キーを押します。**

3 **数字キーで 4 桁のパスワードを入力し、ENTER/OK キーで選択を確定します。**

- パスワードを入力せずにパスワード入力画面を終了するには、STOP キーを押します。

4 **▲▼ キーでトラックを選び、ENTER/OK キーを押します。**

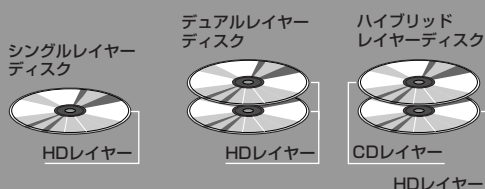
DVD ビデオモード

DVD オーディオディスクには DVD ビデオとして再生可能なコンテンツがあります。DVD ビデオコンテンツは、セットアップメニューで「DVD ビデオモード」を選択して再生します。詳しくは「DVD オーディオ／ DVD ビデオモードの選択」（19 ページ）をご参照ください。

スーパーオーディオ CD の各種機能

スーパーオーディオ CD の規格はダイレクトストリームデジタル（DSD）に基づいています。DSD フォーマットは 1 ビットシステムで構成されており、通常のオーディオ CD の 64 倍のサンプリング周波数を持ちます。

スーパーオーディオ CD にはシングルレイヤー（1 層）タイプ、デュアルレイヤー（2 層）タイプ、ハイブリッドタイプの 3 種類のディスクがあり、それぞれのタイプについて、高音質の 2 チャンネル音声で記録されたステレオエリア、または高音質の最大 6 チャンネル音声で記録されたマルチチャンネルエリアが収録されています。

- シングルレイヤータイプのディスクは、1 層の HD（高密度）レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアが収録されています。
- デュアルレイヤータイプのディスクは、2 層の HD レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアを収録できます。2 層あるため、シングルレイヤータイプの 2 倍の情報が収録されています。
- ハイブリッドタイプのディスクは、1 層の HD レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアを収録できます。もう 1 層が従来のオーディオ CD レイヤーになっているため、通常の CD プレーヤーでも再生できます。

ディスクの再生

1 ディスクをトレイに乗せ、トレイを閉めると自動的に再生が始まります。

➜テレビ画面に現在の再生モードとレイヤーの再生トラックリストが表示されます。

➜ディスクの最後まで再生すると自動的に再生が止まります。

2 再生を停止するときは、STOP(■)キーを押します。

ご注意

- *スーパーオーディオ CD の再生中、アナログ出力の設定は変更できません。*

再生モードの切り替え

SOUND MODE キーで、スーパーオーディオ CD のレイヤーおよびチャンネルエリアを切り替えることができます。HD レイヤー内のマルチチャンネルエリアとステレオエリアを切り替えるときは、SOUND MODE キーを押します。フォルダーとトラックを選んで再生するときは、以下のように操作します。

1 ◀ キーを押します。

2 ▲▼ キーでフォルダーを選びます。

3 ENTER/OK キーを押します。

4 ▲▼ キーでトラックを選びます。

5 ENTER/OK キーを押すと、再生が始まります。

ハイブリッドタイプのディスクでは、HD レイヤーが最初に再生されます。再生停止中に AUDIO キーを押すと HD レイヤーと CD レイヤーを切り替えることができます。

➜HDレイヤーが選択されているときには、SA-CDインジケーターのみ点灯します。

ご注意

- *SA-CD テキストが収録されているディスクのテキスト情報は表示できません。*

MP3、DivX、JPEG、コダックピクチャー CD を再生する

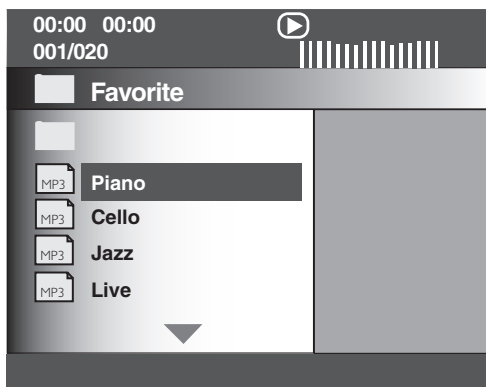
基本の操作

1 ディスクをトレイに乗せ、トレイを閉めます。

多くの曲が 1 枚のディスクに編集されているため読み込み時間が 30 秒を超えることがあります。

➜ディスクメニューがテレビ画面に表示されます。

2 再生が自動的に始まります。

自動的に再生されない場合、PLAY(▶)キーを押します。

- ▶▶| キー／|◀◀ キーを押すと、現在再生中のフォルダー内にある他のトラック／ファイルを選択できます。
- PAUSE(❚❚)キーで再生を一時停止します。

ご注意

- *ディスクの構成や特性、録音状況などにより、MP3/JPEG/DivX/MPEG-4 ディスクを再生できないことがあります。*
- *500 ファイル以下でひとつのフォルダーを作成してください。ファイル数が 500 を超えると、正常に再生できないことがあります。*
- *セットアップメニューの「MP3/JPEG ナビ」(25 ページ)を「メニューなし」に設定した場合、ディスク全体で 500 ファイルを超えていると正常に再生できないことがあります。*

トラック／ファイルの選択

1 ▲▼ キーでフォルダーを選び、ENTER/OK キーを押します。

2 ▲▼ キーでトラック／ファイルを選択します。

3 ENTER/OK キーで決定します。

➜選択したファイルから再生が始まり、フォルダーの最後まで再生します。

リピート(繰り返し)

ピクチャーCD ／ MP3 ファイルのメニューがテレビ画面に表示されているときに、リピート再生ができます。REPEAT キーを押すたびにリピート再生が以下のように変わります。

➜フォルダー:	フォルダー内のすべてのファイルを再生します。
➜シングルリピート:	ひとつのファイルを繰り返し再生します。
➜フォルダーリピート:	フォルダー内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

ピクチャー CD、JPEG の各種機能

ピクチャーCD は JPEG フォーマットの画像を集めたものです。すべてのファイル名の拡張子が "JPG" になっていることを確認してください。デジタルカメラやスキャナーなどから取り込んで、コンピューターで CD に記録した画像を本機で再生できます。

1 **画像ディスク(ピクチャーCD、JEPG)をトレイにセットし、トレイを閉めます。**
➜コダックピクチャーCD の場合、テレビ画面にスライドショーが表示されます。
➜JEPG の場合、テレビ画面にディスクメニューが表示されます。

2 **PLAY(▶)キーを押して、再生します。**

プレビュー機能(JPEG)

現在再生中のフォルダーまたはディスク全体の内容を表示します。

1 **再生中に STOP(■)キーを押します。**
➜テレビ画面に 12 枚の画像が表示されます。

- 画像が 12 枚以上ある場合、次のプレビュー画面を見るときは ▶▶| キーを押し、前のプレビュー画面を見るときは |◀◀ キー押します。

2 **◀ ▶▲▼ キーでお好みの画像を選び、ENTER/OK キーを押して再生を始めます。ページ下の ▦▦▦▦ を選択すると、ページの始めの画像から再生します。**

3 **MENU キーを押すと画像再生が終わり、ディスクメニューに戻ります。**

画像のズーム

1 **再生中に ZOOM キーを押します。**
➜画面にカーソルが表示されます。

- ◀ ▶▲▼ キーで拡大したい部分を移動できます。

2 **ZOOM キーを繰り返し押して、サイズを拡大します。**

3 **ZOOM キーを繰り返し押して、元のサイズに戻します。**

画像の回転

再生中、▲▼◀ ▶ キーで画像を回転できます。
▲: 画像を垂直に反転します。
▼: 画像を水平に反転します。
◀: 画像を反時計回りに回転します。
▶: 画像を時計回りに回転します。

画像の切り替え効果

ANGLE キーを押すたびに、切り替え効果を変更できます。

JPEG と MP3 の同時再生

1 **最初に MP3 ファイルを再生します。**
➜テレビ画面にディスクメニューが表示されます。

2 **MP3 のトラックを選択します。**

3 **MP3 再生中に画像を選んで PLAY(▶)キーを押します。**
➜MP3 の音声再生はそのまま続き、画像が順に切り替わります。

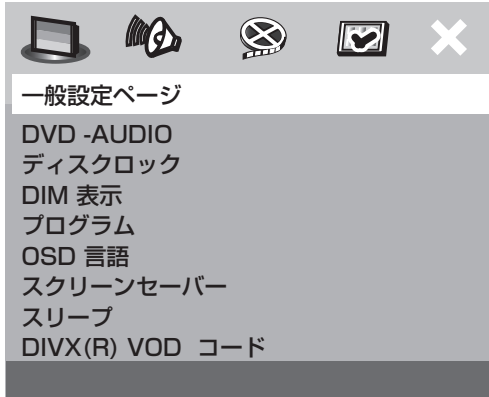
4 **MENU キーを押すと画像再生が終わり、メニュー画面に戻ります。**

5 **STOP(■)キーを押して MP3 の再生を停止します。**

ご注意
- *ディスクの構成や特性、録音状況などにより、コダックピクチャー CD や JPEG ディスクを正常に再生できないことがあります。*

本機の初期設定をお好みにあわせて変更したり、便利な機能を設定できます。

一般設定メニュー

1 **SETUP キーを押します。**
➜ テレビ画面にセットアップメニューが表示されます。

2 **◀ ▶ キーで一般設定メニューアイコンを選択し、▼キーでメニューページに入ります。**
▲▼ キーを押して、変更したい設定項目を選択します。
➜ 選択した項目内にさらに設定項目がある場合、ENTER/OK キーまたは ▶ キーでサブメニューに入り、▲▼ キーで変更したい設定項目を選択します。

3 **ENTER/OK キーを押して、選択を決定します。**

4 **SETUP キーをもう 1 度押すと、セットアップメニュー画面が消えます。**
➜ 設定完了です。電源を切っても設定は保存されます。

DVD オーディオ／ DVD ビデオモードの選択

DVD オーディオディスクによっては通常の DVD プレーヤーで再生可能な DVD ビデオコンテンツが入っている場合があります。これを再生するには「DVD ビデオモード」を選択します。

「DVD オーディオモード」
DVD オーディオを通常再生するときに選択します。

「DVD ビデオモード」
DVD ビデオコンテンツを再生するときに選択します。

ご注意
- *DVD オーディオディスクが再生されているときは、DVD-AUDIO インジケーターが点灯します。*
- *「DVD ビデオモード」を選択すると、DVD-AUDIO インジケータが消えます。*

ディスクロック

ディスクごと（最大 40 枚まで）にロックをかけることができます。

「ロック」
現在本機に入っているディスクをロックします。この設定をしたあとにディスクを再生したいときは 6 桁のパスワードを入力して設定を変更してください。パスワードの初期設定は 000 000 です。詳しくは「パスワード変更」（26 ページ）をご参照ください。

「ロック解除」
現在本機に入っているディスクの視聴制限を解きます。設定後はパスワード入力なしで再生できます。

DIM 表示

本機のフロントパネルディスプレイの明るさを調節します。映画視聴時など気になる場合に暗くすることができます。

「100%」
もっとも明るくなります。

「70%」
中間の明るさです。

「40%」
もっとも暗くなります。

プログラム再生（ピクチャーCD、MP3 を除く）

プログラムを作成すると、トラックやチャプターをお好みの順番で再生することができます。最大 20 トラックまで設定可能です。
「プログラム」の「入力メニュー」を選択し、ENTER/OK キーを押します。
➜ プログラム設定画面が表示されます。

プログラムの入力

1 ▲▼◀▶キーでプログラムの順番を選択します。

2 数字キーでプログラムしたいトラック番号を入力します。

➜ DVD の場合は、まず TT にタイトル番号を入力し、次に▶キーで CH に移動してチャプター番号を入力します。

➜ 10 トラック以上プログラムする場合は、▶▶| キーを押すか、▲▼◀▶キーで「次へ」を選択してから ENTER/OK キーを押して次のページを表示します。

3 続けて選ぶには手順 1、2 を繰り返します。

ご注意

- *プログラムを選択した状態で PLAY キーか ENTER/OK キーを押すと、入力番号が解除されます。*

プログラムの削除

1 ▲▼◀▶キーで削除したいプログラムを選択します。

2 ENTER/OK キーまたは PLAY キーを押します。

プログラムの再生

1 ▲▼◀▶キーで「開始」を選択します。

2 ENTER/OK キーを押します。

プログラムメニューの終了

1 ▲▼◀▶キーで「終了」を選択します。

2 ENTER/OK キーを押します。

➜ プログラムメニュー画面が消えます。

プログラム再生の停止

再生中に STOP キーを押します。

➜ PLAY キーを押すと通常再生になります。

OSD 言語

セットアップメニューや、テレビ画面に表示させるメニューの言語を変更することができます。詳しくは「メニュー言語を設定する」（10 ページ）をご参照ください。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーのオン／オフを設定します。

「ON」

再生を停止または一時停止した状態で 15 分以上経過したときにテレビ画面がスクリーンセーバーに変わります。

「OFF」

上記の状態でもスクリーンセーバーになりません。

スリープタイマー

選択した時間が経過すると、本機がスタンバイモードになるよう設定ができます。

「15 分」「30 分」「45 分」「60 分」

それぞれの時間が経過すると、スタンバイモードになります。

「OFF」

スリープ機能は解除されます。

DivX® VOD 登録コード

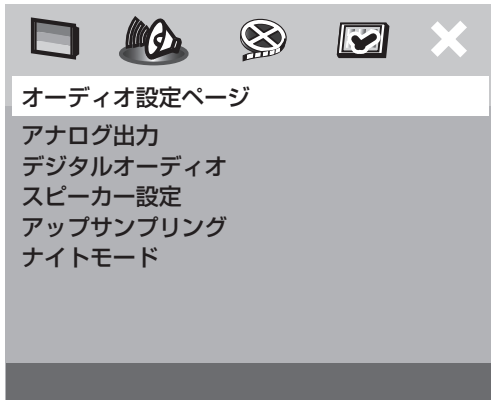
DivX® VOD（ビデオ・オンデマンド）サービスを利用してビデオを賃借または購入するための登録コードを表示します。詳しくは www.divx.com/vod. をご覧ください。本機で再生するには、PC で CD-R にダウンロードします。
「DivX(R) VOD コード」を選択すると登録コードが表示されます。

- メニュー画面に戻るには、ENTER/OK キーを押します。

ご注意

- *DivX® VOD からダウンロードしたビデオは本機でのみ再生可能です。*
- *DivX を再生中はタイムサーチ機能が使えません。*

音声設定メニュー

1 **SETUP キーを押します。**
➜ テレビ画面にセットアップメニューが表示されます。

2 **◀ ▶ キーで音声設定メニューアイコンを選択し、▼ キーでメニューページに入ります。**
▲▼ キーを押して、変更したい設定項目を選択します。
➜ 選択した項目内にさらに設定項目がある場合、ENTER/OK キーまたは ▶ キーでサブメニューに入り、▲▼ キーで変更したい設定項目を選択します。

3 **ENTER/OK キーを押して、選択を決定します。**

4 **SETUP キーをもう 1 度押すと、セットアップメニュー画面が消えます。**
➜ 設定完了です。電源を切っても設定は保存されます。（ただし、アナログ出力とアップサンプリングの設定は保存されません。）

アナログ出力設定

ご使用の AV アンプにあわせて、アナログ出力のタイプを選択できます。

「ステレオ」
この設定では、マルチチャンネル音声信号はステレオ（2 チャンネル）にダウンミックスされます。音声信号はフロントスピーカー、サブウーファーから出力されます。

「バーチャルサラウンド」
サラウンドスピーカーを使用せず、擬似的にサラウンドチャンネルを再現します。スーパーオーディオ CD には無効です。

「マルチチャンネル」
アナログマルチチャンネル入力端子（6CH INPUT）のある AV アンプを使用する場合に選択します。この設定では、DTS、ドルビーデジタル 5.1 チャンネルを本機でデコードします。また、2 チャンネルソースの DVD ビデオ、ビデオ CD、音楽 CD のドルビープロロジックをデコードし、マルチチャンネル化します。

ご注意
- *アナログ出力設定は、ディスク読み込み後に変更できます。*

デジタルオーディオ設定

ご使用の AV アンプにあわせて、デジタル出力のタイプを選択できます。

デジタル出力

「OFF」
デジタル端子から音声信号を出力しません。

「すべて」
本機のデジタル出力端子に、マルチチャンネルデコーダーを搭載した AV アンプを接続しているときに選択します。

「PCM のみ」
ご使用の AV アンプがマルチチャンネルデコーダーを搭載していない場合に選択します。

LPCM 出力

出力するリニア PCM 信号のサンプリング周波数を選択します。サンプリング周波数が高いほど、音質は良くなります。
本機のデジタル出力端子に、リニア PCM 対応の AV アンプが接続されている場合、設定の変更が必要になることがあります。

「48KHz」
サンプリング周波数が 48kHz で収録されているディスクを再生します。サンプリング周波数が 96kHz で収録されているディスクのデジタル信号は 48kHz に変換して出力されます。

「96KHz」
サンプリング周波数が 96kHz で収録されているディスクを再生します。著作権保護のためディスクに 96kHz の高音質信号の出力を防止する処理がされていると、音声は出力されません。

ご注意
- *96kHz 出力は「アナログ出力設定」が「ステレオ」に設定されているときのみ有効です。*

スピーカー設定

各スピーカーの音量レベル、スピーカーと視聴位置の距離を調節します。詳しくは「スピーカーの設定を調節する」（11 ページ）をご参照ください。

CD アップサンプリング

音楽 CD を高いサンプリング周波数に変換し、音質を向上させます。アップサンプリングを有効すると、本機は自動的にステレオモードに切り替わります。

「OFF」
CD アップサンプリングを無効にします。

「88.2 kHz(X2)」
オリジナルの 2 倍のサンプリング周波数に変換します。

「176.4 kHz(X4)」
オリジナルの 4 倍のサンプリング周波数に変換します。

ご注意
- *CDアップサンプリングはアナログ端子から出力される音声信号にのみ有効です。*

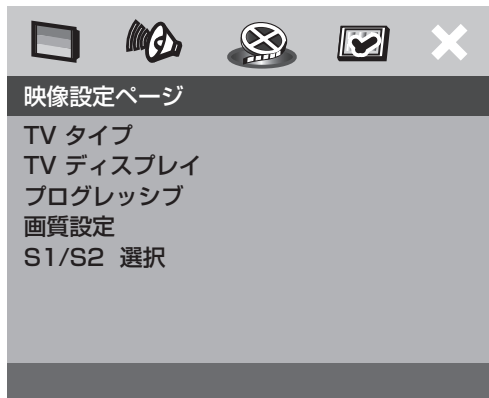
ナイトモード

この設定をすると、大きな効果音などは控えめに再生され、かすかな音は聴き取ることができる程度に大きくして再生されます。深夜にアクション映画などを視聴するときに便利です。

「ON」
ナイトモードになります。この機能はドルビーデジタルモードの映画にのみ有効です。

「OFF」
通常の再生になります。

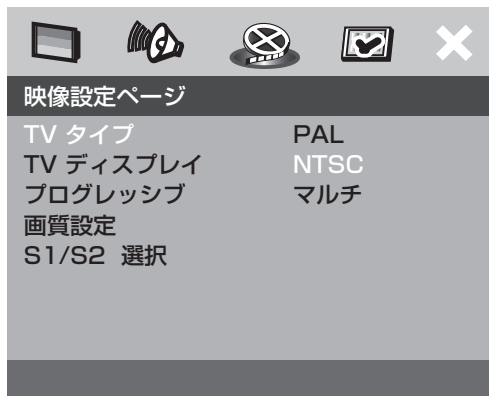
映像設定メニュー

1 **SETUP キーを押します。**
➜テレビ画面にセットアップメニューが表示されます。

2 **◀ ▶ キーで映像設定メニューアイコンを選択し、▼キーでメニューページに入ります。**
▲▼ キーを押して、変更したい設定項目を選択します。
➜選択した項目内にさらに設定項目がある場合、ENTER/OK キーまたは ▶ キーでサブメニューに入り、▲▼ キーで変更したい設定項目を選択します。

3 **ENTER/OK キーを押して、選択を決定します。**

4 **SETUP キーをもう 1 度押すと、セットアップメニュー画面が消えます。**
➜設定完了です。電源を切っても設定は保存されます。

TV タイプ

本機から出力する映像方式を「NTSC」「PAL」「マルチ」から選択できます。日本国内では通常、初期設定の「NTSC」を変更する必要はありません。

「PAL」

PAL 方式のテレビをご使用の場合に選択します。海外で使用されている映像信号方式のひとつです。NTSC 方式で収録されたディスクは PAL に変換して出力されます。

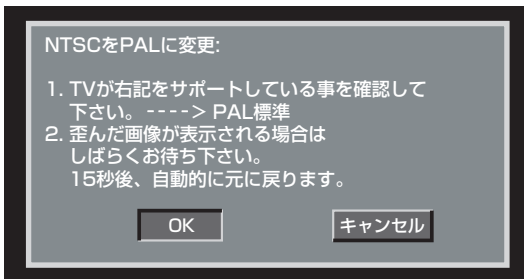
「NTSC」

NTSC 方式のテレビをご使用の場合に選択します。日本国内の映像信号方式は NTSC です。PAL 方式で収録されたディスクは NTSC に変換して出力されます。

「マルチ」

マルチシステムテレビ(PAL/NTSC 両システムに対応)をご使用の場合に選択します。ディスクに収録されたとおりの信号を出力します。

ご注意

- *テレビ設定を変更する前に、ご使用のテレビがそのシステムに対応していることを確認してください。*
- *ご使用のテレビが選択されたフォーマットと互換性がない場合は画像が乱れますが、15 秒程度で自動的に回復します。*

TV ディスプレイの設定

本機に接続しているテレビのサイズにあわせて、設定を変更します。

「4:3 パンスキャン」

ワイドではないテレビをご使用の場合に選択してください。ワイドの映像を再生すると、縦は画面いっぱいに、横は左右がカットされた状態で見えます。

「4:3 レターボックス」

ワイドではないテレビをご使用の場合に選択してください。ワイドの映像を再生すると、画面の上下に帯が入った状態で見えます。

「16:9」

ワイドテレビをご使用の場合に選択してください。

TV ディスプレイの設定とテレビの映像表示について

ご使用のテレビが従来のサイズ(4:3)の場合

本機の設定	テレビの映像表示	
4:3 パンスキャン	16:9のソフト	*1
	4:3のソフト	
4:3 レターボックス	16:9のソフト	
	4:3のソフト	

ご使用のテレビが(16:9)の場合

本機の設定	テレビの映像表示	
16:9	16:9のソフト	
	4:3のソフト	*2

**1: パンスキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。*
**2: お使いのテレビによって、映像が左右に引き伸ばされる場合は、テレビの画面モード設定をご確認ください。*

プログレッシブ

本機の COMPONENT VIDEO(Y、PB/CB、PR/BR および D1/D2)端子はプログレッシブ信号を出力できます。プログレッシブ対応のテレビで再生することで、高密度でちらつきの少ない高品質な画質が楽しめます。

「OFF」

プログレッシブ出力しません。

「ON」

プログレッシブ出力します。

ご注意

- *テレビ側もプログレッシブ対応しているかご確認ください。*
- *コンポーネントビデオまたはD端子を接続してください。*

一部のプログレッシブ(525p および 625p)入力対応のテレビ(プロジェクター)は本機と完全な互換がとれていないため、プログレッシブ再生時に画像に乱れが生じる場合があります。*その場合には、プログレッシブ機能をオフにして再生してください。*

なお、本機と互換があるヤマハの機器は下記のとおりです。
DPX-1100、LPX-510

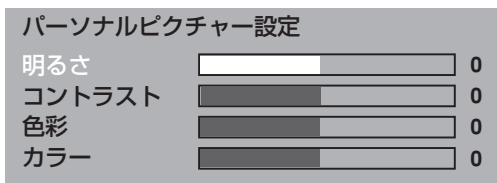
画質設定

色調を自分の好みや再生ソースに合わせて調整できます。

「標準」
標準的な画質になります。

「明るい」
画像がより明るく映し出されます。

「ソフト」
画像がより柔らかく映し出されます。

「パーソナル」
明るさ、コントラスト、色彩、カラーの画質調整ができます。
これを選択すると、テレビ画面にメニューが表示されます。

▲▼キーを押して、次のメニューから変更したい項目を選択します。

「明るさ」
◀ ▶キーで、画像全体の明るさを調整できます。「0」が平均的な明るさです。

「コントラスト」
◀ ▶キーで、明暗の強弱を調整できます。「0」が平均的なコントラストです。

「色彩」
◀ ▶キーで、色合いを調整できます。「0」が平均的な色彩です。

「カラー」
◀ ▶キーで、色のレベルを調整できます。「0」が平均的なカラーです。

S1/S2 選択

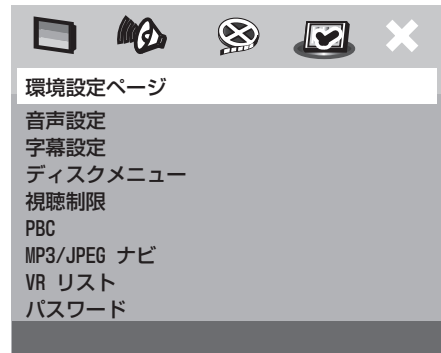
本機のSビデオ出力端子は、S1機能(4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して再生)とS2機能(S1に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに再生)に対応しています。ご使用になるテレビのSビデオ入力端子にあわせて設定を変更してください。

「S1」
SまたはS1ビデオ入力端子に接続するときに選択してください。

「S2」
S2ビデオ入力端子に接続するときに選択してください。

環境設定

1 STOP(■)キーを2度押して、再生を停止します。

2 SETUPキーを押します。
➜テレビ画面にセットアップメニューが表示されます。

3 ◀ ▶キーで音声設定メニューアイコンを選択し、▼キーでメニューページに入ります。
▲▼キーを押して、変更したい設定項目を選択します。
➜選択した項目内にさらに設定項目がある場合、ENTER/OKキーまたは▶キーでサブメニューに入り、▲▼キーで変更したい設定項目を選択します。

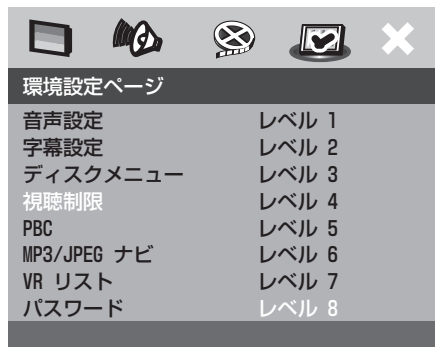
4 ENTER/OKキーを押して、選択を決定します。

5 SETUPキーをもう1度押すと、セットアップメニュー画面が消えます。
➜設定完了です。電源を切っても設定は保存されます。

音声、字幕、ディスクメニュー言語

音声言語、字幕言語、ディスクメニュー言語をそれぞれ設定することができます。詳しくは「音声、字幕、ディスクメニュー言語を設定する」をご参照ください。

視聴制限

視聴制限レベルの設けてあるDVD(ディスクのジャケットなどに表示があります)では、お子様が視聴するのに適さないシーンがある場合、ディスク全体または特定のシーンに視聴制限をかけることができます。8段階のレベル設定がありますが、国によって制限レベルが異なります。
「視聴制限」を選択すると、以下のメニューが表示されます。

視聴制限を無効に設定するには

手順3で「レベル8」を選択します。

レベル1－7について

数値が小さいほど視聴制限は厳しくなります。例えばレベル5に設定した状態でレベル6のディスクを再生しようとすると暗証番号入力画面になります。シーンごとにレベル設定されているディスクならば、そのシーンをとばすか、代替シーンが収録されていればそれを再生することもできます。

ご注意

- *ビデオCD、スーパービデオCD、CD、スーパーオーディオCDや海賊版DVDなどに視聴制限をかけることはできません。*
- *ディスクのジャケットに表示がある場合でも、レベルがコード化されていないために、視聴制限機能が効かないことがあります。*

PBC(プレイバックコントロール)

プレイバック再生を「ON」または「OFF」にできます。この機能はビデオCD2.0にのみ有効です。詳しくは「プレイバックコントロールの操作」(15ページ)、「プログラム再生(ピクチャーCD、MP3を除く)」(19ページ)をご参照ください。

MP3/JPEGナビ

MP3ファイルやJPEG画像を再生するときに、再生方法の操作画面を表示するかしないかを設定できます。

「メニューなし」
操作画面を表示せず、すべてのファイルを自動的に再生します。

「メニューあり」
操作画面を表示し、お好みのファイルを選んで再生します。

VRフォーマットの再生

VR(ビデオレコーディング)フォーマットには、ディスクに実際に記録される“オリジナル“とオリジナルを元に編集して作成される“プレイリスト“という2種類のタイトルがあります。この設定は、VRフォーマットに対応していないディスクでは選択できません。

「オリジナル リスト」
実際に記録されているタイトルを再生します。

「プレイ リスト」
オリジナルを元に編集して作成されたタイトルを再生します。プレイリストが作成されていない場合は選択できません。

VRフォーマットのディスクを再生する

1. セットアップメニューで「オリジナル リスト」または「プレイ リスト」を選択します。
2. SETUPキーを押して、セットアップメニューを終了します。
3. PLAY(▶)キーを押します。
   ➜選択したタイトルの再生が始まります。

VRフォーマットのプレビュー

4. 再生中にSCANキーを押します。
5. 「タイトルダイジェスト」または「タイトルインターバル」を選択します。

6. ENTER/OKキーで決定します。

「タイトルダイジェスト」
1度に6タイトルが表示され、見たいタイトルを探すことができます。

- 「オリジナル リスト」を選択した場合、実際に記録されているタイトルが表示されます。
- 「プレイ リスト」を選択した場合、プレイリスト内のすべてのタイトルが表示されます。

「タイトルインターバル」
再生中のタイトルの内容を等間隔で分割して表示します。1度に6つの画像が表示され、タイトル全体から見たい場面を探すことができます。
再生中のタイトルが短い場合「タイトルダイジェスト」機能に切り替わります。

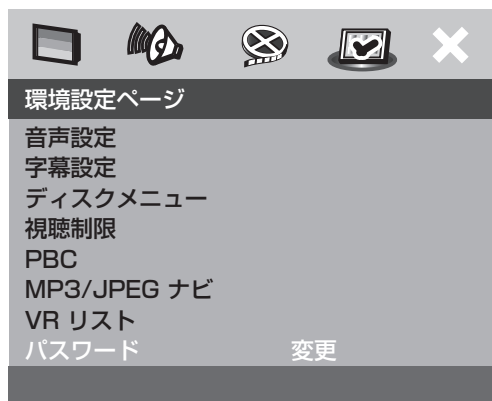
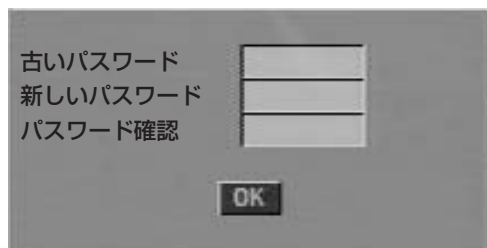
（表示例）

7. ◀ ▶▲▼ キーでタイトルを選択します。「選択」のとなりにカーソルを移動させ、数字キーでタイトル番号を入力することもできます。
   ▶▶|キーで次の6タイトル、|◀◀キーで前の6タイトルを見ることができます。

8 ENTER/OK キーで決定します。
- プレビューを終了するときは、◀ ▶▲▼ キーを押して「終了」にカーソルを移動させ、ENTER/OK キーを押します。
- プレビューのメニュー画面に戻るときは、◀ ▶▲▼ キーを押して「メニュー」にカーソルを移動させ、ENTER/OK キーを押します。

パスワードの変更

「ディスクロック」と「視聴制限」で使用する 6 桁のパスワードを設定します。工場出荷時のパスワードは 000 000 です。

1 「パスワード」メニューで「変更」を選択します。

2 ENTER/OK キーを押します。
➜ パスワード変更メニューが表示されます。

3 数字キーで現在の(古い)パスワードを入力します。
- はじめてこの設定をおこなうときは、000 000 を入力します。

  パスワードを忘れてしまったときは、000 000 を入力します。

4 新しいパスワードを入力します。

5 もう 1 度新しいパスワードを入力します。

6 ENTER/OK キーで決定します。
➜ 新しいパスワードの登録完了です。

デフォルト

セットアップメニューの設定(パスワード以外)を工場出荷時の初期値に戻すことができます。

1 「デフォルト」メニューで「リセット」を選択します。

2 ENTER/OK キーで決定します。
➜ すべての設定が初期値に戻ります。

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	解決方法
電源が入らない	– 電源プラグがしっかりと差し込んであるかご確認ください。 – 本機の STANBY/ON キーを押して電源を入れます。
映像が出ない	– 正しいビデオ入力を選択してください。詳しくはテレビの取扱説明書の参照ください。 – テレビのスイッチが入っているかご確認ください。 – 本機の COMPONENT VIDEO（Y、PB/CB、PR/BR および D1/D2）端子を接続した状態で映像が出なくなったら、以下の操作をしてください。 1．本体の ▲OPEN/CLOSE キーを押して、トレイを開けます。 2. リモコンの ◀ キーを押します。 3. ANGLE キーを押します。
映像が歪む	– 本機で再生できるディスクかご確認ください。（「再生できるディスク」（3 ページ）参照） – ディスクに汚れがある場合は拭いてください。 – 歪みがひどい、または白黒になる場合、NTSC/PAL の設定がご使用のテレビとあっていないことがあります。（「TV タイプ」（22 ページ）参照） – 映像が左右に伸びる／縦長になる、および字幕が切れる場合、画面サイズの設定がご使用のテレビとあっていないことがあります。（「TV ディスプレイの設定」（23 ページ）参照）または、ご使用のテレビの画面モード設定をご確認ください。
音が出ない、または歪む	– 接続したアンプやテレビのボリュームを調節してください。 – スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。
デジタル端子から出力される音声信号が再生されない	– デジタル端子の接続をご確認ください。 – お使いのアンプが、選択している音声フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合は音声フォーマットを切り替えるか、オーディオ設定メニューの「デジタル出力」を PCM ONLY に設定してください。 – 選択した音声言語のフォーマットがご使用の AV アンプとあっているかご確認ください。
ディスクが再生できない	– DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW の各ディスクはレコーダーでファイナライズしなければ再生できません。 – ディスクのラベル面が上になっているかご確認ください。 – ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを再生してみてください。 – 画像や MP3 を収録したディスクの場合、少なくとも 6 ～ 10 枚の画像か 3 ～ 5 曲のトラックが記録されているかご確認ください。 – 本機で再生できるディスクかリージョンコードをご確認ください。（「DVD ビデオのリージョンコードについて」（3 ページ）参照）

故障かな？と思ったら

症状	解決方法
ディスクを取り出しても初期画面（SUPER AUDIO CD、DVD AUDIO/VIDEO と YAMAHA ロゴが表示されている画面）に戻らない	– 本機の電源を一度切ってから再度電源を入れてください。
本機がリモコンに反応しない	– 本機正面のセンサーに向けてください。 – 距離を近づけてみてください。 – 電池を交換してください。 – 電池の方向が正しいかご確認ください。
キーが働かない	– 本機をリセットするために、電源コードを抜いて約 10 秒後に再度電源を入れてください。
再生中に操作できない機能がある	– ディスクによって操作できない機能があります。ディスクのジャケット等にある説明もご覧ください。
テレビ画面に表示されるメニュー項目を選択できない	– セットアップメニューに入る前に、STOP キーを 2 度押して再生を停止してください。 – ディスクによっては選択できないメニュー項目があります。
DivX の映像を再生できない	– DivX ファイルが DivX バージョン 5.x の“Home Theater”モードでエンコードされているかご確認ください。
DivX の映像を再生しても音が出ない	– 音声コードが本機に対応していない可能性があります。

アスペクト比:ブラウン管など画像の縦横の比率のことをアスペクト比といいます。通常のブラウン管は 3 対 4、ワイドテレビなどは 9 対 16 となっています。

アナログ:データが時間的または空間的に連続して変化する量で表されていることをアナログといいます。アナログ端子は左右 2 つのチャンネルから音声を出力します。

映像出力端子:DVD プレーヤーの背面にある端子で、テレビに映像を出力します。

音声出力端子:DVD プレーヤーの背面にある端子で、テレビ、ステレオなど他の AV 機器に音声を出力します。

コンポーネント出力端子:DVD プレーヤーの背面にある端子で、コンポーネントビデオ入力端子(R/G/B、Y/PB/PR など)のあるテレビに高画質な映像を出力します。
映像信号を、輝度を表す Y 信号と色を表す PB/CB 信号および PR/CR 信号の 3 系統に分け、それぞれの信号を独立して伝送するため、色をより忠実に再現できます。

サラウンド:リスナーの周囲に複数のスピーカーを配置することで、3 次元の音場効果を生み出すシステムをサラウンドといいます。

視聴制限:青少年に好ましくないディスクや場面の視聴を拒否するために、DVD ビデオに組み込まれた機能です。

スーパーオーディオ CD:高密度なデータが記録された音楽 CD で、高音質な音声の再生が可能です。スーパーオーディオ CD には、シングルレイヤー、デュアルレイヤー、ハイブリッドレイヤーの 3 種類のタイプがあります。ハイブリッドタイプのディスクには、従来の音楽 CD データとスーパーオーディオ CD データの両方が記録されています。

タイトル、チャプター:DVD ビデオは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられています。それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

ディスクメニュー:DVD に音声、字幕、アングルなどの情報が収録されている場合、テレビ画面にそれらのメニューが表示されます。

デジタル:データが有限桁の数値で表されていることをデジタルといいます。COAXIAL(同軸)または OPTICAL(光)デジタル端子は複数のチャンネルから音声を出力します。

ドルビーデジタル:ドルビーデジタルは、完全に独立したマルチチャンネル音声を再生できるデジタルサラウンドシステムです。全帯域の音声成分を持つフロントの 3 チャンネル(フロント L/R、センター)と、サラウンドのステレオ 2 チャンネル、低音域専用の LFE チャンネルの合計 5.1 チャンネルで構成されます。サラウンドがステレオ 2 チャンネルで収録されているため、音の移動感、木々のざわめきや波の音などの繊細な環境音も明確に再現できます。

ビットレート:1 秒間あたりのビット量のことをビットレートといいます。アナログ音声信号をデジタル信号化する際に、音の大きさを数値化するときのきめ細かさを量子化ビット数といい、これが大きいほど音の大きさの変化をきめ細かく再現できることになります。

プレイバックコントロール:ビデオ CD やスーパービデオ CD に記録された信号により、再生をコントロールすることができます。プレイバックコントロールメニューをテレビ画面に表示させると、見たい場面や情報を選ぶことができます。

プレイリスト:VR フォーマット対応のディスクで、オリジナルを元に編集して作成したタイトルをプレイリストといいます。

用語解説

プログレッシブ:1画面のすべての走査線を、1度に表示する走査方式です。走査線を奇数段、偶数段にわけ、交互で表示するインターレースに比べ、ちらつきの少ない、滑らかな画像を映し出すことができます。

マルチチャンネル:出力される音域や特性によって区別された音声の種類をチャンネルといい、3チャンネル以上で構成されている場合、マルチチャンネルと呼びます。

リージョンコード:映画上映前の地域にDVDビデオが出回らないことを目的に、DVDに組み込まれた仕組みです。世界を6つに地域に分割し、それぞれの地域に割り当てた1～6のコードをリージョンコードといいます。DVDプレーヤーとディスクのリージョンコードが一致しないと再生できないようになっています。

DivX(ディベックス) 3.11/4x/5x: DivXNetwork, Incが開発した、映像や音声データを圧縮／伸張するプログラムです。高画質のままファイル容量を小さくすることができます。DivX形式に映像を変換したり、作成したファイルを再生したりするには、DivX対応コーデックが必要です。

DTS: Digital Theater Systemsの略で、多くの映画館で採用されている最大5.1チャンネルのサラウンドシステムです。情報量が多いため、リアルな音響効果が得られます。

JPEG(ジェイペグ):画像圧縮アルゴリズムを制定する目的で設立された団体(Joint Photographic Coding Experts Group)によって策定された、静止画像を10分の1～100分の1に圧縮する技術です。風景や写真データなどを圧縮するのに効果的です。

MP3:高圧縮で高品質な音声データ圧縮技術です。Motion Picture Experts Group 1 (MPEG 1)Audio Layer 3の略で、MPEG1とMPEG2の音声圧縮で使われています。CD品質のデジタルサウンドデータを約10分の1に圧縮できます。

PCM:MP3形式のようにアナログ音声信号を圧縮せずに、そのまま符号化して録音、伝送する方式です。Pulse Code Modulationの略で、デジタル信号をパルスの符号にして変調記録するという意味です。音楽CDやDVDオーディオの録音方法などで採用されています。

Sビデオ端子:DVDプレーヤーの背面にある端子で、Sビデオ入力端子のあるテレビに映像を出力します。映像信号を、輝度を表すY信号と色を表すC信号に分けて伝送するため、より美しい映像で録画、再生をお楽しみいただけます。

VR(ビデオレコーディング)フォーマット:録画時にファイルと時間の位置を対応させる情報をディスクに記録するため、録画後に編集が可能です。VRフォーマット対応のプレーヤでのみ再生可能です。

対応ディスク

DVD ビデオ
DVD オーディオ
ビデオ CD、スーパービデオ CD
CD
スーパーオーディオ CD
ピクチャーCD
CD-R、CD-RW
DVD+R、DVD+RW
DVD-R、DVD-RW

ビデオ部

出力信号

ビデオ	1 Vpp（75Ω）
S ビデオ	Y: 1 Vpp（75Ω）
	C: 0.3 Vpp（75Ω）
コンポーネントビデオ	
	Y: 1 Vpp（75Ω）
	Pb/Cb Pr/Cr: 0.7 Vpp（75Ω）
D1/D2	Y: 1 Vpp（75Ω）
	Pb/Cb Pr/Cr: 0.7 Vpp（75Ω）

オーディオフォーマット

ドルビーデジタル、DTS 出力

PCM	16, 20, 24 ビット
	サンプリング周波数 44.1, 48, 96 kHz
MP3	24, 32, 56, 64, 96, 128, 256 kbps
	サンプリング周波数 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 kHz
WMA	32kbps-192kbps, mono, stereo

アナログステレオ出力

オーディオ特性

DA コンバーター	24 ビット	
S/N 比（1kHz）	110dB	
ダイナミックレンジ（1kHz）	100dB	
DVD	サンプリング周波数 96kHz	2Hz～44kHz
	サンプリング周波数 48kHz	2Hz～22kHz
SVCD	サンプリング周波数 48kHz	2Hz～22kHz
	サンプリング周波数 44.1kHz	2Hz～20kHz
CD/VCD	サンプリング周波数 44.1kHz	2Hz～20kHz
全高調波歪率（1kHz）	0.003%	

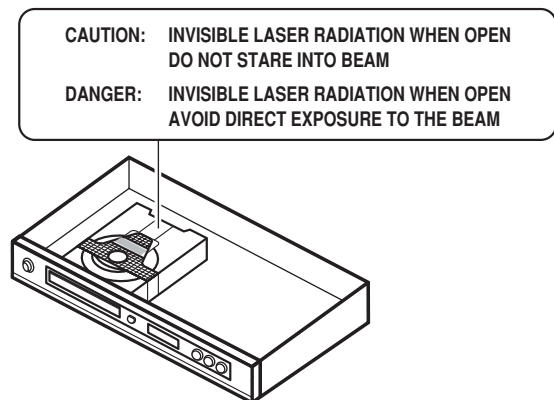
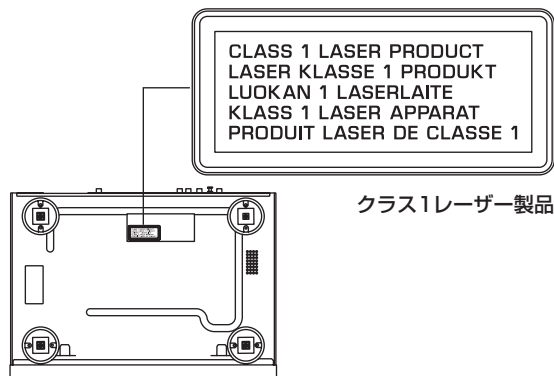
レーザー

タイプ	半導体レーザー GaAlAs
波長	650nm（DVD/SA-CD）
	780nm（VCD/CD）
出力	7mW（DVD/SA-CD）
	10mW（VCD/CD）

ビーム広がり 60 度

ご注意

- *この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は有害な放射を引き起こす可能性があります。*

CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN DO NOT STARE INTO BEAM
DANGER: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN AVOID DIRECT EXPOSURE TO THE BEAM

総合

寸方（幅 x 高さ x 奥行き）	435 × 310 × 51 mm
質量	約 2.6 Kg
電源電圧／周波数	100V、50/60Hz
消費電力	約 14W
待機時消費電力	1W 以下

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

言語コード一覧

アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブバジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イスピアク	7375
イタリア	7384
イディッシュ	8973
インターリングア	7369
インターリングア	7365
インドネシア	7368
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
オロモ	7977
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
カンナダ	7578
カンボジア	7577
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
キニャルワンダ	8287
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185

ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンゴ	8371
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7486
スウェーデン	8386
スペイン ; Castilian	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ツォンガ	8483
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7866
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083

パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビスラマ	6673
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
プロバンス	7967
ヘブライ	7269
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285
ヴォラピュック	8679

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

■ お客様ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通) 0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。
TEL(053)460-3409

FAX (053)460-3459
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル(全国共通) 0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053)463-1127

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口
受 付 日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053)462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間
お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み
技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!

愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中沢町10-1